あげしお

令和８年 １１ 月２日
鷹南学園三鷹市立第五中学校
校長　櫻井　勉
第７号

「あげしお」～物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

◇学校教育目標◇

・進んで考える人
・情操豊かな人
・心身ともに健康な人

光の国を探究すると…

副校長　成田 啓和

あげしお第5号で、校長が仮面ライダーの話題を取り上げていましたが、今回はウルトラマンについて、探究してみたいと思います。

ウルトラマンがお茶の間に登場したのは、1966年（昭和41年）、今年はシリーズ開始から60周年だそうです。60年前といえば、ちょうど日本は高度経済成長の真っただ中。古代怪獣ゴモラが阪神工業地帯を襲い、ウルトラセブンに登場したクール星人は、中京工業地帯を全滅させています。

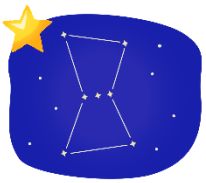
ここで解説すると、「高度経済成長期」とは 1955 年～1973 年頃、敗戦の焼け野原からしばらくして、急速に日本の社会が復興した時期を指します。四大工業地帯には、臨海部に巨大なコンビナートや工場群が次々と作られ、日本に爆発的な経済発展をもたらしました。

一方で、高度経済成長期は公害も生み出し大問題となりました。特に四大公害病は深刻で、全国的にも環境汚染と人的被害が深刻化しました。当時は工場排水にはメチル水銀が流され、工場のばい煙からは亜硫酸ガスがまき散らされていたのです。

さて、ウルトラマンに話を戻すと、怪獣や宇宙人は工業地帯を攻撃していますが、それは高度経済成長期という時代を反映していました。また、帰ってきたウルトラマンでは、汚染されたヘドロや工業排水から発生した怪獣ザザーン、東京・夢の島のゴミ埋立地に出現し、人間が捨てたプラスチックを食料とするゴキネズラなど、多くの公害怪獣も登場しました。

高度経済成長は日本を豊かにした一方で、環境を悪化させて人間の住みづらい世の中にもしました。この延長線上に私たちは暮らしています。今回はウルトラマンというテレビ番組を題材としましたが、このように「社会の仕組み（構造）」や「人々の意識の変化」などに着目して、世の中を分析する学問を「社会学」といいます。

次に理科的、科学的な視点でウルトラマンを探究してみましょう。まず、ウルトラマンは M78 星雲という光の国からやって来たという設定になっていますが、オリオン座には実際に、M78星雲と呼ばれる星雲があるそうです。しかし、調べてみると実際のM78星雲、つまり光の国の正体は、ガス（水素分子H_2）とダスト（ケイ酸塩や炭素を主成分とする粒子状の物質）の集まりであり、個体の星ではありませんでした。



ちなみに、オリオン座は我々が住む天の川銀河にある天体です。我々が住むというのは、地球があるという意味です。地球は太陽の周りを回っていますね。地球以外にも水星、金星…と8個の惑星が周っています。惑星の中心に位置する太陽は自ら燃え光っている星で、これを恒星といいます。この恒星が、天の川銀河にはいくつあるかご存じですか。

正解は、2,000 億個だそうです。そしてなんと、宇宙全体では、天の川銀河以外の銀河が 2,000 兆個あるというのです…。

ここで、この宇宙に星はいくつあるのか計算してみましょう。計算方法は、太陽系に冥王星も入れて星が10個あると仮定します。すると、10×2000 億 × 2000 兆…これをコンピューターに計算させると、「4 × 10の 27 乗（4 に 10 を 27 回掛けた数）」と出ました。

地球はその中の一つです。そう考えると、確率論的にウルトラマンや怪獣、ましてや宇宙人のいる星もあるのではないか、いや、むしろないというのは無理があるのではないか、などと考えてしまいます。



ところで、10月23日に合唱コンクールがありました。練習当初は、音を合わせるのもやっとでした。しかし、終盤、廊下から歌声を聴いていて、思わず立ち止まり、歌詞とその歌声の迫力に思わず泣きそうになったことが数回ありました。本番当日、特に3年生の歌は胸にぐっと来るものがあり、ちょっと泣けました。

ウルトラマンの最終回を子供の頃に見て、泣きそうになったのを覚えています。ウルトラマンシリーズは今も、“ウルトラマンテオ”が放送されており、まさに親子三代にわたって親しまれている番組と言えるでしょう。

この学校だよりを読んで、親子二代、若しくは三代で会話が弾むご家庭があれば、大変ありがたく思います。

♪スポーツの秋、芸術の秋、文化の秋、食欲の秋…寒い冬が来る前に大いに秋を満喫しましょう♪



Conbrio ～作り上げろ感動のコーラスを～

10月23日、三鷹市公会堂光のホールにて「令和8年度合唱コンクール」が開催されました。当日は、多くの保護者の方々や地域の皆様に見守られる中、五中生の歌声をホール中に響かせることができました。少人数ながらも美しいハーモニーを響かせ一生懸命歌ってくれたⅠ組。元気溌溂に精一杯歌声を披露してくれた1年生。声の厚みが増し、大きな成長を感じさせてくれた2年生。そして、曲想について理解を深め、どう表現すべきかを十分に意識し、感動を届けてくれた3年生…。芸術の秋という言葉にふさわしい一日となりました。多くの皆様のご協力、ありがとうございました。



あいさつ運動(9/29～10/2)

2学期に入り、今年度2回目の学園あいさつ運動が行われました。今回は中原小・東台小、五中とそれぞれの学校で別々に取り組みました。そのため、五中生だけで行うということで、担当委員会の生徒のみならず、多くの生徒がボランティアとして参加してくれました。また、「地域ケアネット」や「五中おやじの会」の方々も五中に駆けつけてくださり、あいさつ運動に参加してくださいました。

これからもあいさつのあふれる学校をめざしていきます。



マナー講習(10/27)＆防災授業(10/29)2年生

マナー講習会では、ハローワーク三鷹より講師の方にお越しいただき、職場体験を前に、身だしなみや言葉遣い、挨拶やお辞儀の作法などを丁寧に教わりました。

防災学習では、新川中原地区災害対策連合会、三鷹紫水園、日赤奉仕団、三鷹消防署、三鷹市総務部防災課の方々にお越しいただき、「リヤカー・車椅子体験」「初期消火訓練」「三角巾の使い方」「AED の使い方」の4つの活動を体験させてもらいました。



狂言鑑賞教室(10/30) 1年生・Ⅰ組

東京都教育委員会が主催する「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として今年度も「和泉流宗家による狂言鑑賞教室～聞いて、観て、やってみる！～」を開催しました。

「盆山」「小舞」の鑑賞、そしてワークショップでは、当時からお別れの挨拶だった「さらば、さらば」の狂言の言い回しを、狂言師と同じ口伝にて稽古をつけていただきました。約600年間、大切に継承されてきた日本の伝統文化の奥深さに触れる貴重な体験となりました。

11月の主な予定

2(月)　全校朝礼
4(水)　三者面談終(3年)
9(月)　冬季考査(社会・国語・音楽)
10(火)　冬季考査(英語・理科・保健体育)
11(水)　冬季考査(技術家庭・数学)
12(木)　⑥カット　一斉委員会　学校保健委員会
13(金)　小6部活動体験
16(月)　自然教室保護者説明会(1年)
17(火)　職場体験(2年)
18(水)　職場体験(2年)　⑤カット　学園教員研修
19(木)　職場体験(2年)　⑥カット　職員会議
22(日)　スピーキングテスト(3年)市民駅伝大会
26(木)　Ⅰ組宿泊学習始
27(金)　Ⅰ組宿泊学習終
30(月)　面談週間始(全学年)

生徒会朝礼認証式(10/5)



10月1日より、後期生徒会・委員会の活動が始まりました。5日の認証式では、各委員会の代表である委員長が、全校生徒を前に挨拶を行いました。各委員会の委員一人一人が「自覚」と「責任」をもって仕事に取り組み、自治活動の幅を広げていってほしいと思います。皆さんの取組みによって、五中全体の学校生活を快適で、より豊かなものにしていきましょう。

生徒会之印

PTAと教員の懇談会(10/28)

教員、保護者約30名が集まり、大変盛り上がりました。来年度は更に大勢のご参加をお待ちしています。

＜合唱コンクール結果＞

金賞
1年Ｂ組「変わらないもの」
2年Ｃ組「心の瞳」
3年Ｂ組「ヒカリ」
銀賞
1年Ｄ組「大切なもの」
ベストハーモニー賞
Ⅰ組「カントリーロード」

＜五中生の活躍！＞

○バレーボール部
・第76回三鷹市市民スポーツ祭
女子2部　優勝